

マーケットの動き2025年7月14日～7月18日

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。週前半は、米国長期金利が上昇したことから、日米金利差拡大が意識され、円売り・米ドル買いが優勢となりました。その後、16日にFRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長の解任観測により、米ドルは一時売られる局面がありましたが、否定報道により反発し、その後も20日の参院選を巡る不透明感から円は売られました。ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルでは下落しました。

投資環境見通し（2025年7月）

円に対して米ドルは弱含み、ユーロはレンジ内での動き

米ドル：米国におけるスタグフレーション（経済活動の停滞と物価の持続的な上昇が併存する状態）や財政赤字に対する懸念を背景に、米ドルは円に対して弱含むとみています。ただし、中東情勢が緊迫化する場面では、ドルが選好される場面もあるとみています。

ユーロ：米国関税政策を巡って域内景気の減速が懸念される中、米国におけるスタグフレーション懸念などの構造的なドル安要因と、ユーロを巡る強弱材料が交錯しユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。

	7月18日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	148.50	1.13	3.70	▲7.63	▲8.27
ユーロ/円	172.96	0.64	6.32	12.14	1.85

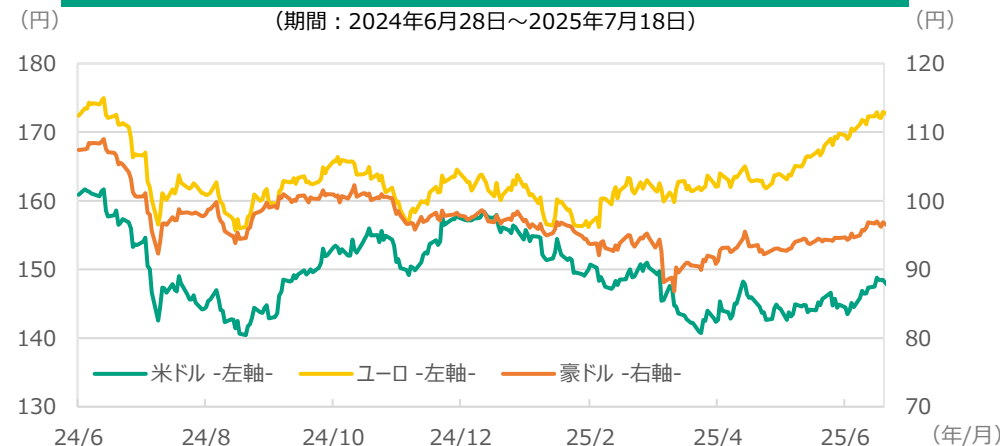
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202507_outlook.pdf

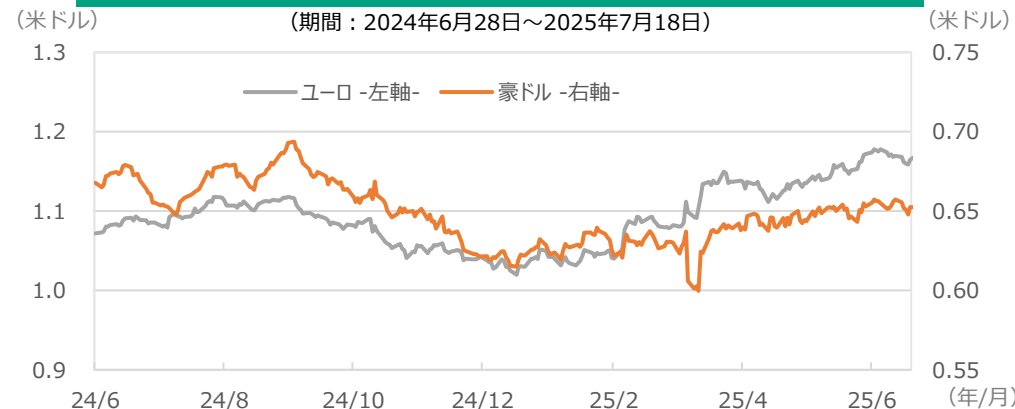
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2024年6月28日～2025年7月18日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2024年6月28日～2025年7月18日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>